

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2009-142800(P2009-142800A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2007-325653(P2007-325653)

【国際特許分類】

B 0 1 D 53/26 (2006.01)

B 0 1 D 53/22 (2006.01)

B 0 1 D 63/02 (2006.01)

F 1 5 B 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 53/26 Z

B 0 1 D 53/22

B 0 1 D 63/02

F 1 5 B 3/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月27日(2009.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

上記構成を有する増圧器 3 は、図 3 に示すような増圧室 4 0 a の増圧した圧縮空気の出力を完了した状態、すなわち、駆動室 4 1 a への圧縮空気の供給と駆動室 4 1 b 内の圧縮空気の排気により両ピストン 3 7 a , 3 7 b を左動させ、増圧室 4 0 a の圧縮空気を、駆動室 4 1 a 及び増圧室 4 0 b の圧縮空気により両ピストン 3 7 a , 3 7 b に作用する力により圧縮し、それにより増圧した増圧室 4 0 a の圧縮空気の出力を完了した図示の段階では、ピストン 3 7 a がプッシュロッド 4 3 a を押圧して切換弁 4 3 を切り換えるので、その切り換えにより、同図に示すように、該切換弁 4 3 の供給口 4 4 が駆動室 4 1 b に連通し、排気口 4 5 が駆動室 4 1 a に連通するようになる。その結果、駆動室 4 1 b に供給口 4 4 からの圧縮空気が供給されると同時に、駆動室 4 1 a 内の圧縮空気が排気口 4 5 を通して外部に排出されるので、駆動室 4 1 b に流入した圧縮空気と増圧室 4 0 a 内の圧縮空気に基づいてピストン 3 7 a , 3 7 b に作用する力で、両ピストンが右動し、増圧室 4 0 b の圧縮空気が増圧され、この増圧した圧縮空気が出口チェック弁 3 2 b を介して出口 3 2 から送出される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

更に、上記メンブレンドライヤ 5 においては、上記出口側本体ボディ 5 1の出口ポート 5 1 a またはそれに接続した配管 7 から分岐して、該出口ポート 5 1 a 側の除湿した圧縮空気の一部をパージ流路入口部 5 6 a に流す連通路 6 0 を設け、その連通路 6 0 中にオリフィス 6 1 を配置している。通常、このオリフィス 6 1 の流量は、除湿された圧縮空気の

うちの必要最小量がパージ流路入口部 5 6 a に流れるように設定される。